

## カリキュラム（中級） / 環境構築 / 01\_webpack

---

### 目的

---

- npmとは何かを理解する
- webpackとは何かを理解する
- npmを使ってpackageをインストールできるようになる
- webpackを使って開発ができる

### 概要

---

#### npmとは

**Node Package Manager**の略で、Node.jsのパッケージを管理するものです。

モダンなフロントエンド開発では、npmを用いて既存のpackage（誰かが制作してくれた便利な機能）を利用しながら開発していきます。

package.jsonファイル（package-lock.jsonファイルもあるが、普段触ることはないので割愛）に実行するコマンドや、依存ファイルなどを記述します。

複数人で開発する際は、このpackage.jsonファイルを共有することで同じ開発環境で作業できるようになります。

#### webpackとは

webpackとは、複数のjsファイルをまとめるモジュールバンドラです。jsファイルだけでなく、sassファイルなどもまとめることができます。

モジュールをまとめることで、表示速度の高速化を行うことができます。

[最新版で学ぶwebpack 4入門 JavaScriptのモジュールバンドラ](#)

### 実践

---

#### 注意点

- work/01-webpackフォルダで作業してください
- ターミナルで作業する際は、vscodeのterminalをつかうとコードを見ながら実行できるので大変便利です [Visual Studio Code上でターミナル起動](#)

#### npmを使ってみる

1. ターミナルを開き、該当フォルダ（work/01-webpack）に移動

```
// ルートディレクトリ(curriculum-intermediateリポジトリのルート)にいる場合以下コマンドを実行
$ cd work/01-webpack
```

## 2. package.jsonファイルを作成

ターミナルで以下コマンドを実行すると、デフォルト設定のpackage.jsonファイルが生成されます。

```
$ npm init -y
```

## 3. npmでwebpackをインストールする

**npm install {モジュール}** を実行するとアプリケーションで使用するモジュールをインストールすることができます。開発時のみに使用するモジュールの場合、最後に --save-devを付与します。

[npm installの-sと--save-devの違いと-g](#)

```
$ npm install webpack webpack-cli --save-dev
```

## webpackを使ってみる

work/01-webpack内で、以下の記事を参考に、 **ファイル変更時に差分ビルドを。ウォッチを利用する**まで実装してみてください。

[最新版で学ぶwebpack 4入門 JavaScriptのモジュールバンドラ](#)

## webpackでES2019×jQueryの環境構築する

work/01-webpack内で（webpackを使ってみるで実装したものは破棄して構いません）、以下の記事を参考に、 **webpack+Babel+jQueryの構成を作成しよう**まで実装してみてください。

[最新版で学ぶwebpack 4入門 - Babel 7でES2019環境の構築（React, Vue, Three.js, jQueryのサンプル付き）](#)

---

### 添付ファイル (0)

---



白藤 卓也によって 2020/10/26 19:16:22 に作成されました。